

特報!

NEXT GIGA スタートダッシュ セミナーを開催します



日時 令和7年8月18日(月) 午前／午後（2回開催）

場所 香川県教育センター

対象 小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び
教育委員会職員 ※ 希望制（各回100名程度）

内容 ① クラウド事業者による県域アカウントの操作体験

アカウントに関するクラウドツールや端末について、使い方などを実際に体験できます。

② 県内ICT活用先進校における実践事例の交流

学びや校務のDXについて、参加者からもチャットで質問などいただきながら深めます。

③ 外部有識者によるNEXT GIGAに向けた講話

更なるDXのポイントや全国の事例から、今後の授業などについて示唆をいただきます。

※ 申込方法など、詳細は令和7年6月に各所あて周知予定です。

こちらもぜひご覧ください

香川県教育委員会

リーフレット

（令和6年3月発刊）

『ICTを活用した教育の
推進に向けた4つのポイント』



香川県教育委員会

令和6年度

ICT活用推進実践校事業

実践報告書など

NEW



現在使用されている児童生徒1人1台端末が導入されてから、約5年が経とうとしています。その端末の更新も控える中、令和6年度～10年度については「GIGA第2期」と呼ばれています。これをそのまま英訳すると「Second GIGA」となりますが、今回はあえて「NEXT」と表現しています。これには、『よりよい環境整備をめざす！』『学びも校務も、さらなるステップの改革に挑む！』といった願いを込めています。ICTを基盤としながら、新たな時代にふさわしい教育の在り方をめざす「DX」を、先生方や子どもたちとともに、全力で進めてまいりたいと考えています。

香川県教育委員会事務局 義務教育課 教育情報化推進室

NEXT GIGA, NEXT KAGAWA.

香川県教育DXグランドデザイン
— みんなで進める、ICT活用の未来 —



香川県教育委員会

令和7年3月発行

香川の どこでも 誰もが 質の高い教育を受けられる ICT環境の実現をめざした 3ステップ

NEXT GIGA において「DX（デジタル・トランスフォーメーション：情報技術を活用した変革）」を進めるポイントを、3つの観点にまとめました。こうした方向性を意識しながら、各学校などでの取組も検討してみてください。

県域アカウントの整備

アカウントは、クラウド環境にアクセスしたり、その中のデータを扱ったりする際の「基盤（ID）」となります。これを県域で統一的に整備することで、例えば子どもたちが小学校から高等学校まで、県内で進学や転校を行ったとしても、個人のデータを引き継いで利用することができます。1人1台の端末とともに「1人1アカウント」を意識することが、まず重要になるといえます。

※ 県立学校は令和7年度中に、市町（学校組合）立学校は主に令和8年度から順次、整備予定。



クラウド環境のフル活用

学びのDX

子どもたちが、各自の特性などに合った方法やペースで学びを深めることが重要となっています。その支援の一つとして、ICT、特にクラウド環境が有用です。即時性や共有のしやすさを活かすことで、子ども自身が教材データに何度も触れたり、他者の学んでいる様子をデータ上で随時参照したりできます。



活動の振り返りをアンケートフォームで行っている様子。文章だけでなく写真を付けるなど一人一人が工夫して記録できます。教員としても、全記録をクラウド上で簡便に把握できるよさがあります。



課題に対する考えをグループでまとめている様子。他のグループの考えを参照したり、一度共有した考えを更新して再度共有したりできることが、子どもたち自身で話し合いを深める支援となっています。

校務DX

クラウドストレージやチャットなどは、校務でも有用です。個人情報やセキュリティには留意しつつも、積極的な活用やシステム間の連携が求められています。



研究資料の供覧として、クラウド上でコメントを付け合っている様子。最新状態の自動保存や、URLでの簡便な共有なども可能で、紙面やファイルデータのやり取りよりも効率化を図ることができます。

さらなる情報技術の利活用

近年、様々な「教育データ」を一元的に分析・可視化することで、子どもたちが自らの学びを振り返りやすくなることなどが期待されています。また、社会で急速に普及している「生成AI」についても適切に活用することで、教職員の働き方改革につなげることなどが求められています。こうした情報技術の利活用について、研究指定校で事例を創出するなどしながら、普及をめざします。

